



# ブラウン メモリアル チャペル 献堂100周年 記念事業

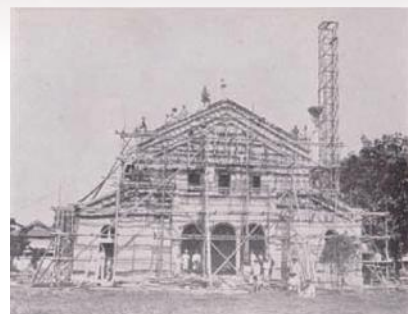
## 国登録有形文化財 ヴォーリス建築を次の100年へ

九州学院のシンボルとして生徒や同窓生、そして地域の方々に愛されてきた  
ブラウン・メモリアル・チャペル。

数々の名建築を手掛けたアメリカの建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリスの設計によって  
1925（大正14）年に建築され、今年で100周年を迎えます。

この歴史的建造物は国の登録有形文化財に登録されており、熊本の貴重な財産でもあります。  
しかし、長い歳月を経て老朽化が進み、建物の損傷は深刻な課題となっています。

有形文化財登録当時のブラウン・メモリアル・チャペル



建築中のブラウン・チャペル

## 未来へつなぐチャペル修復プロジェクト

ブラウン・チャペルは学院の創立者であるC・L・ブラウンの功績を記念して建設され、  
100年にわたり熊本の街を見守り、地域の人たちがあたたかい祈りを捧げてきた大  
切な場所です。この建物を次世代へ、そして未来へとつなごう——そのためこの記  
念すべき100周年を機にチャペルの修復に着手し、これからも地域の皆さまが集い、  
交流できる場所として活用していきます。



瓦のずれや雨樋の詰まりにより  
雨漏りが起きている



塗装が硬化してひび割れや剥がれなど  
深刻な劣化が随所に見られる

### ご支援のお願い

歴史を継承し未来へとつなぐこの大切なプロ  
ジェクトに、皆さまのご理解とあたたかいご支援  
を心よりお願い申し上げます。皆さまからのご支  
援は、老朽化した屋根や外壁の補修、そして内部  
設備の改修費用として大切に活用させていただ  
きます。

九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルへの寄付は  
税制上の優遇措置（寄付金控除）の対象です。

### 寄付の方法

#### ▶ 銀行振込

肥後銀行 味噌天神支店  
（普）1545820  
名義／学校法人九州学院 理事長 福田 稠

#### ▶ 郵便振替

口座番号：01780-6-149000  
加入者名：学校法人九州学院  
理事長 福田 稠

\*お手数ですが、お振込みとともに下記事務局へお名前、ご住所をお知らせください。

#### ▶ クレジットカード

以下のサイトまたは右のQRコードからお手続きください。  
<https://kyugaku.ed.jp/donations/>



お問い合わせ

学校法人 **九州学院**  
募金事務局

〒862-8676 熊本市中央区大江5丁目2-1  
TEL 096-364-6134（平日9:00～16:30）  
E-mail: [kifu@kyugaku.ed.jp](mailto:kifu@kyugaku.ed.jp)

九州学院高等学校

<https://kyugaku.ed.jp/>



Brown Memorial Chapel  
Since 1925

# CHAPEL HISTORY

## 沿革



Brown Memorial Chapel  
Since 1925

- |            |  |
|------------|--|
| 1910 明治 43 | 九州学院設立認可(1月19日)<br>設立者はアメリカ南部一致ルーテル教会宣教師チャーチルズ・L・ブラウン博士  |
| 1911 明治 44 | 九州学院開校   |
| 1921 大正 10 | ブラウン博士がアフリカ伝道地視察中リベリアにて熱病により召天                           |
| 1925 大正 14 | 北米一致ルーテル教会海外伝道局の支援によりチャペルが竣工<br>ブラウン・メモリアル・チャペル献堂式       |
| 1978 昭和 53 | 屋根、内壁の塗装、傷んだ扉などの修復工事が完了<br>同窓生の熱心な保存運動と募金活動により950余万円が集まる |
| 1992 平成 4  | 窓の木枠などを取り替え  |
| 1996 平成 8  | 国の登録有形文化財に登録(熊本県第一号)                                     |
| 1997 平成 9  | 内外壁の洗浄、塗料吹き付け、白蟻駆除を実施。取り付け電灯から移動式レールへ変更                  |
| 2004 平成 16 | 台風被害により一部補修工事  |
| 2011 平成 23 | 九州学院創立100周年  |
| 2016 平成 28 | 熊本地震で被災し一部補修工事   |
| 2024 令和 6  | 正面扉を塗り替え   |

## C.L.BROWN

チャーチルズ・ラファイエット・ブラウン(1874~1921)

宣教師の中でも、「路帖熊本教会」や「路帖神学校」、「九州学院」の創設に最も貢献したのが、チャーチルズ・ラファイエット・ブラウン宣教師でした。ノースカロライナ州の農家に生まれ、伝道者となる決心をしてローノーク大学を経て、フィラデルフィアのルーテル神学校を卒業した後、1898(明治31)年11月に日本にやって来ました。1900(明治33)年12月、熊本に着任。新屋敷町435番地に居住し、精力的な伝道活動を始めました。そして、この熊本に1909(明治42)年「路帖神学校」を創設し、1911(明治44)年に「九州学院」を開校しました。1921(大正10)年、アフリカ伝道地視察中のリベリアで熱病により召天し、彼がチャペルの完成を見ることはありませんでした。



## W.M.VORIES

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ(1880~1964)

アメリカ・カンザス州出身のウィリアム・メレル・ヴォーリズは1905(明治38)年、現在の八幡商業高校の英語教師として赴任。しかしキリスト教宣教活動のため地元住民の反発を受け、1907(明治40)年に教師を辞職。その後も近江八幡に留まり、建築事務所や現在の近江兄弟社を設立し、事業家として活躍する一方、伝道活動も継続しました。1941(昭和16)年には日本に帰化し、一柳米来留(ひとつやなぎ・めれる)と改名。1958(昭和33)年には近江八幡市の名誉市民第1号となる。彼は軽井沢にも拠点を持ち、全国の宣教師や関係者と交流を深める中で建築事業を拡大。ヴォーリズ建築の中では、教会などキリスト教関係の建築物が非常に多く、全国に及んでいます。



(画像提供/公益財団法人近江兄弟社)